

ワーキング・グループの設置等について（案）

平成 24 年 9 月 28 日

基本問題・影響調査専門調査会

1 設置

基本問題・影響調査専門調査会（以下「調査会」という。）において、「日本再生戦略」（平成 24 年 7 月 31 日閣議決定）の重点施策の一つとして位置づけられた「『女性の活躍促進による経済活性化』行動計画」を受け、同計画において検討することとされた以下の課題等につき、主に法制的な観点から調査検討を行うため、調査会に「女性の活躍促進ワーキング・グループ」を設置する。

- ・ 公共調達を通じた女性の活躍の推進方策の検討
- ・ 女性の活躍を支援するための事業等の在り方の検討
- ・ 国家公務員の採用・登用におけるポジティブ・アクションの検討

2 構成

ワーキング・グループは、別紙の委員により構成する。

3 運営

ワーキング・グループの運営は、調査会運営規則の規定するところに準ずるものとし、これにより難しい場合には、座長が、ワーキング・グループの意見を聞いて、取扱いを定めるものとする。

女性の活躍促進ワーキング・グループ 委員名簿

平成24年9月28日現在
(50音順、敬称略)

上村 敏之	関西学院大学教授
碓井 光明	明治大学大学院教授
岡田 真理子	和歌山大学准教授
※岡本 直美	日本労働組合総連合会会長代行
※鹿嶋 敬	実践女子大学教授
榊原 智子	読売新聞東京本社編集局社会保障部
※辻村 みよ子	東北大学大学院教授
中窪 裕也	一橋大学大学院教授
藤谷 武史	東京大学社会科学研究所准教授
巻 美矢紀	千葉大学大学院准教授
山川 隆一	慶應義塾大学大学院教授
山本 隆司	東京大学大学院教授

(※印:男女共同参画会議議員)

(参考)

男女共同参画会議専門調査会報告を踏まえた今後の取組事項 及び当面の検討の進め方について（抜粋）

平成 24 年 8 月 1 日

男女共同参画会議決定

3. 基本問題・影響調査専門調査会

【専門調査会の今後の調査方針】

「女性の活躍促進による経済活性化」行動計画（平成 24 年 6 月 22 日 女性の活躍による経済活性化を推進する関係閣僚会議決定）を受け、同計画において検討することとされた以下の課題等につき、年末までに中間的な整理を行う。

- ・ 公共調達を通じた女性の活躍の推進方策の検討
- ・ 女性の活躍を支援するための事業等の在り方の検討
- ・ 国家公務員の採用・登用におけるポジティブ・アクションの検討